

令和6年度事業報告書概要（竹芝客船ターミナル外1施設）

指定管理者：東京港埠頭・テレポートセンターグループ

1 管理状況
<p>○ 適切な管理の履行</p> <p>・ 人員配置 「人員配置計画」に基づき人員を配置。</p> <p>・ 人材育成の取組 情報セキュリティ研修、コンプライアンス研修、人材育成研修などにも参加し、OJTを実施した。また、上級救命技能認定証も取得している。</p> <p>・ 施設の使用許可 東京都港湾管理条例第6条、第7条、第27条及び竹芝客船ターミナル施設の管理運営基準に基づき、申請内容を審査し適正に許可を行った。</p> <p>・ 施設の維持補修・修繕 劣化が進み利用者に影響が出そうな事案を優先して緊急工事を行うなど、ターミナルの適切な維持管理を実施した。喫煙場所の整備や館内の結露防止、空調機器の更新を確実にを行い、利用者サービス低下の防止に努めた。</p>
<p>○ 安全性の確保</p> <p>・ 防災・防犯への配慮 竹芝エリアを管轄する防災センターと、内線電話による連絡体制を確立するなど災害時に備え、事件・事故発生時には、必要に応じて救急要請をしたほか、関係者に速やかに報告を行った。 また、愛宕警察署や海上保安部、定期船運行事業者と、災害時の避難・誘導などの情報交換を行い防災・防犯に備えているほか、地震や火災を想定し、防火防災（自衛消防）訓練等を実施した。</p> <p>・ 緊急時対策・事故防止 スタッフによる自主チェック及び専門業者（警備・設備）によるチェックを毎日実施している。 また、公園管理部門と連携し、樹木等の定期点検を行うほか、ボーディングブリッジ保守点検を行っており、不具合を発見後は速やかに対処している。</p> <p>・ 事故等への対応 ①上級救命技能認定者の配置等（再掲） ②救急用品の整備とAED器具の点検等</p>
<p>○ 法令等の遵守</p> <p>・ 個人情報保護・情報公開の取組 社内規定に基づき処理。</p> <p>・ 各種法令等の順守 行政代行者としての必要な法令順守につながる研修等を受講。</p> <p>・ 情報事故への対応 ネットワークシステムのクラウド化で情報セキュリティ対策を強化しているほか、社内規程等に基づき適正に処理。</p>

2 事業効果

○ 事業の取組

・ 自主事業の企画、実施、成果
「小笠原DAY」では、島からの要望を踏まえ、中央広場にやぐらとステージを設置して盆踊りを実施し、小笠原村村長と交流するイベントを行うなど、一体感を創出した。また「竹芝夏ふえす&ミュージックフェス」では、近隣施設等と連携して実施し、新たに設置したフォトスポットが好評だったため、ターミナル内で常設設置とした。新たな自主事業として神津島の星空保護区認定記念イベントを行い、星空の魅力を語るとともに星にまつわる楽曲を届けるイベントを実施するなど、島のPRと賑わいの創出に寄与した。

・ 利用者サービス向上に向けた取組
入口に鎮座している新島のモヤイ像などのモニュメントの案内盤に多言語（日本語・英語・韓国語・中国語）の音声QRコードを設置した。出港や着岸の有無などの運行情報を配信しているデジタルサイネージにて、島しょ等の高等学校の協力により作成した島の紹介動画を新たに放映した。

○ 利用の状況

乗降客数 693,689人
撮影合計 633件

○ 利用者の反応

施設設備の状況における来館者アンケートでは、約80%以上が満足度が高いと評価している。自主事業開催時のアンケートは全体的に高評価であり、特に新規自主事業として実施した”星降る島”神津島トーク&ライブでは、イベントの感想、スタッフ対応等において約90%が満足度が高いと評価をしている。

○ 行政目的の達成

・ 都及び関係機関等との連携
警察、海上保安部、運航事業者等と連携し、テロ予告、要人来館時の特別警戒や、近隣での花火大会における事前協議・当日警戒により事件事故の未然防止に繋げている。迅速な維持補修を行うため、事業費を調整し、緊急対応等経費として確保されている予算を上回る額を、東京都と協議の上で執行した。

・ 都の実施策への協力
東京都施工の工事において、業者との施設のスケジュール調整、利用者への告知等を行うなど、施設管理者として積極的に東京都の事業に協力している。

3 収支状況（単位：千円）

項目		金額（税込）
収入	指定管理料	348,163
支出	管理運営費	312,854
収支差		35,309